

審査意見への対応を記載した書類（6月）（資料）目次

資料 1	学則別表第 8 大学共通教育課程（教育学部は除く） （1）教育の基礎的理解に関する科目等（中高教諭）	…p. 2
資料 2	養成する人材像とディプロマ・ポリシーとの相関及び整合性	…p. 3
資料 3	養成する人材像とカリキュラム・ポリシーとの相関及び整合性	…p. 4
資料 4	カリキュラム・ポリシーとアドミッション・ポリシーの相関及び整合性	…p. 5

資料 1

別表第8 大学共通教育課程(教育学部は除く)

(1) 教育の基礎的理解に関する科目等(中高教諭)

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
教 職 論	2		教職(中学)のみ 中免は4単位以上、 高免は2単位以上を選択必修
教 育 原 論	2		
教 育 心 理 学	2		
特 別 支 援 教 育 概 論	1		
教 育 社 会 学	2		
教 育 課 程 論	2		
道 徳 教 育 論	2		
特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践	2		
教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)	2		
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2		
教 育 相 談	2		
教 育 実 習 指 導	2		
教 育 実 習 I		4	
教 育 実 習 II		3	
教 育 実 習 III		2	
学 校 体 験 活 動		1	
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	2		
計	25	10	

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等(栄養教諭)

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
教 職 論	2		
教 育 原 論	2		
教 育 心 理 学	2		
特 別 支 援 教 育 概 論	1		
教 育 社 会 学	2		
教 育 課 程 論	2		
道 徳 教 育 論	2		
特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践	2		
教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)	2		
生 徒 指 導 論	2		
教 育 相 談	2		
栄養教育実習事前事後指導	1		
栄 養 教 育 実 習	1		
教 職 実 践 演 習 (栄 養 教 諭)	2		
計	25	0	

(3) 学芸員に関する科目

授 業 科 目	単位数		備 考
	必修	選択	
生 涯 学 習 概 論	2		
博 物 館 概 論	2		
博 物 館 経 営 論	2		

資料 2

【資料 1】 養成する人材像とディプロマ・ポリシーとの相関及び整合性

養成する人材像

コンピュータや情報ネットワークの仕組みを理解したうえで、

1. ネットワークシステムやソフトウェアを設計・構築・運用することにより、社会においてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進できる人材。
2. ビッグデータと機械学習を組み合わせた新時代のデータ分析により、社会においてDXを推進できる人材。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

定められた年限在学し、所定の単位（卒業研究を含む）を修得し、DXの推進に必要となる以下を満たす学生の卒業を認定し、学士（工学）の学位を与える。

- 1) コンピュータや情報ネットワークの仕組みを理解している
- 2) コンピュータ工学、あるいはデータ科学の核となる知識と実践力を身に付けている

補正により全体を修正

【資料2】 養成する人材像とカリキュラム・ポリシーとの相関及び整合性

養成する人材像

コンピュータや情報ネットワークの仕組みを理解したうえで、

1. ネットワークシステムやソフトウェアを設計・構築・運用することにより、社会においてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進できる人材。
2. ビッグデータと機械学習を組み合わせた新時代のデータ分析により、社会においてDXを推進できる人材。

カリキュラム標準
J17

コンピュータエンジニアリング領域
コンピュータ科学領域

データサイエンス・カリキュラム標準

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

1. 情報工学の基礎となる、数学、統計学、物理学の重点的な初年次教育を実施する。
2. コンピュータや情報ネットワークの仕組みの理解に必要となる、コンピュータ科学の科目を開講する。
3. 2年次始めにコンピュータ工学、データ科学コースに分け、2年次以降それぞれの専門科目を開講する。
4. 実践的能力を養うために演習科目を設けるとともに、卒業研究を課す。
5. 各科目の評価基準・方法はシラバスに示す。また、複数開講される同一科目において著しい成績分布の差異が生じないよう基準を設け、客観的な成績評価を実施する。

資料 4

【資料3】カリキュラム・ポリシーとアドミッション・ポリシーの相関及び整合性

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

1. 情報工学の基礎となる、数学、統計学、物理学の重点的な初年次教育を実施する。
2. コンピュータや情報ネットワークの仕組みの理解に必要となる、コンピュータ科学の科目を開講する。
3. 2年次始めにコンピュータ工学、データ科学コースに分け、2年次以降それぞれの専門科目を開講する。
4. 実践的能力を養うために演習科目を設けるとともに、卒業研究を課す。
5. 各科目の評価基準・方法はシラバスに示す。また、複数開講される同一科目において著しい成績分布の差異が生じないよう基準を設け、客観的な成績評価を実施する。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

1. DXの推進に取り組む意欲を持つ
2. 大学で学修するために必要な数学と理科、及び英語の基礎的な力を備えている

補正により全体を修正